

【学力向上フロンティアスクール中間報告書様式】（小学校用）

都道府県名	鳥取県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	米子市立尚徳小学校									
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数	
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	20	
児童数	50	53	65	48	53	49	6	324		

実践研究の概要

1. 主題（テーマ）

主体的に自分の思いや考えを伝え合い，学ぶ喜びを高める子どもの育成  
 —— 国語・算数の学習活動を中心として ——

2. 内容と方法

(1)実施学年・教科

全学年国語・算数（基礎学力の向上と児童相互の伝え合う力の育成の両方を達成するためには，先導教科として国語と算数が適していると考えたから。）

(2)年次ごとの計画

平成  
14  
年  
度

テーマ

「ふれあう心 かがやく瞳 学び合う喜び」

全教科，領域を視野に入れた意図的・計画的な伝え合う力の育成

研究の見通し（仮説）

伝え合う力の育成を図るために意図的に児童相互のかかわり合いの機会を設定すれば，伝え合う喜びと学ぶ喜びが生まれ，主体的に自分の思いや考えを表現できるとともに，学力を向上させていくことができる。

研究内容・方法

意図的・計画的な伝え合う力の育成

- ・全教科領域を視野に入れた指導計画作成準備
- ・伝え合う力を育成する基盤となる学習集団作り

国語科の基礎・基本を明確にした授業づくり

- ・一人一人の実態を生かした指導の工夫と語彙力を高める読書指導の充実
- ・基礎的・基本的事項の定着を図るための評価規準の位置づけ

算数科における個の学びに応じた指導

- ・個に応じ，少人数指導を取り入れた指導形態の工夫
- ・算数科における伝え合う力，「数学的表現力」の研究

平成  
15  
年  
度

テーマ

「主体的に自分の思いや考えを伝え合い，学ぶ喜びを高める子どもの育成」  
 国語・算数の学習活動を中心として

（主体的に自分の思いや考えを伝え合い，学力を向上させることができる児童を育てることを目標に，国語・算数科の授業においてよりきめ細かな指導を行うことと，児童相互の意欲的で豊かなかかわり合いの機会を設定することによって，伝え合う喜びと学ぶ喜びを高めていこうと考え，それに

そった具体的な主題が必要と考えたから。)

研究の見通し(仮説)

伝え合う力の育成を図るために、きめ細かな指導と意図的に児童相互の豊かなかわり合いの機会を設定すれば、伝え合う喜びと学ぶ喜びが高まり、主体的に自分の思いや考えを表現できるとともに学力を向上させていくことができる。

研究内容・方法

国語科

- ・授業形態等を工夫した伝え合い認め合う場の設定
- ・個に応じた補充教材，ワークシートの作成と利用
- ・評価規準を中心に据えた授業づくり
- ・学習に図書を利用しようとする態度を育成する読書指導の充実

算数科

- ・個に応じ，少人数指導を取り入れた指導形態の工夫と指導の充実
- ・絶対評価に基づく自己診断問題の作成と活用
- ・思考の流れを相手意識をもって適切に伝える力の育成

テーマ

「主体的に自分の思いや考えを伝え合い，学ぶ喜びを高める子どもの育成」  
国語・算数の学習活動を中心として

研究の見通し(仮説)

伝え合う力の育成を図るために、きめ細かな指導と意図的に児童の自己評価，相互評価の場を設定すれば、伝え合う喜びと学ぶ喜びが高まり、主体的に自分の課題意識を深めることができるるとともに学力を向上させていくことができる。

研究内容・方法

国語科

- ・児童の理解度に応じたきめ細かな指導の工夫
- ・課題追求力を伸ばす指導方法の工夫
- ・指導と評価の一体化を図るための教師・児童相互・自己評価の関連づけ
- ・課題解決に図書を生かそうとする態度を育成する読書指導の充実

算数科

- ・少人数指導を中心とした細やかな指導と振り返りカード，ノートの活用による自己診断能力の育成
- ・思考の流れを相手意識をもって適切に伝える力の育成とその体系化
- ・多様かつ個の学びに応じた支援の工夫と，活動に生きる評価の工夫

平成16年度

(3)研究体制

研究推進委員会

全体会

学年部会(低・中・高学年部)

研究専門部会(国語部・算数部)

平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

(国語)

- ・学習過程の中の「話す」「聞く」「読む」「書く」場面で、児童自身が主体的に相手意識や目的意識をもって活動するようになり、よりよく伝えようと言葉にこだわりや関心をもつ児童が多くなった。「関心・意欲・態度」の評価「十分に満足できる」14年度25%、15年度30%）\*評価は全学年通知表観点別評価の平均
- ・授業中に話す機会を意図的に多くすることにより、話すことに抵抗をもつ児童が減少し、自分の思いをのびのびと表現できるようになった。（「話す・聞く」の評価「十分に満足できる」14年度33%、15年度36%）
- ・授業や集会等で、児童の話聞く態度や姿勢が向上し、教師や友だちの話に自然に反応したり質問したりできるようになった。

（算数）

- ・T・T学習、少人数指導を行うために、指導案、指導方法など共同して検討したことによって、教師の指導法や技術の交流ができ、学習指導の学級差を無くし、指導力の向上が図れた。
- ・T・T学習、少人数指導を行うことによって、児童を多面的にとらえ（振り返りカード、ノート等活用）、個に応じた支援をきめ細かくしたことにより、どの児童も自分の力を最大限に出し、最後まで課題追求を続けていくことができた。（「関心・意欲・態度」の評価「十分に満足できる」14年度24%、15年度30%）
- ・算数的表現力を育成することを目指し授業改善を行った結果、式をはじめ絵や図、線分図など様々な方法で表現し、自分の考えを友だちに伝えようとする児童が増え、友だちの表現のよさを感じることで、自分の表現方法も拓げていくことができた。「思考力」の評価「十分に満足できる」14年度24%、15年度29%）

## 2. 今後の課題

（国語）

- ・語彙不足のために、表現したり理解したりすることが十分にできない児童がいる。語彙を増やすための効果的な指導のあり方や学習場面での支援のあり方を研究、実践していきたい。加えて、読書指導の充実も図りたい。
- ・児童がより主体的に学ぶ力を身につけるために、課題意識をもち、自己の力で課題解決をめざしていくような学習単元づくりや課題別・コース別学習等の研究、実践を図りたい。
- ・より豊かな伝え合う力を育てるために、スキル学習で身につけた「話す・聞く」技能が生かせるような場を多く設定していきたい。
- ・指導・支援と評価の一体化が図れるような学習活動を工夫していきたい。

（算数）

- ・教師は児童の多様な表現により思考の流れを見とることができた。さらに、児童が表現のよさを実感できるような学習を展開していきたい。
- ・少人数のメリットの生きるきめ細かな指導が必要な場面と集団指導のよさ（多様性、意外性など）が生きる場面の使い分けをしっかりと行いたい。
- ・グルーピングについては、目的、よさ等を子どもや保護者に十分に伝えたい。少人数学習のグルーピングが「得意、不得意」「できる、できない」などとならないように同和教育的な観点からも望ましい人間関係づくりをすすめたい。

学力等把握のための学校の取組

学力把握のための3年・6年基礎学力調査（国語・算数）実施（1月）

学力把握のための県の診断テスト（国語・算数）実施（2月）

学習への感心・意欲把握のための学習アンケート実施（10月）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

「尚徳小学校校内授業研究会」2年1組算数公開学習

日時・場所・対象 平成15年6月18日・尚徳小学校・尚徳中学校区教職員

目的「算数的活動を通して伝え合う喜びを実感しながら力をつける授業について」

「尚徳小学校校内授業研究会」3年算数少人数指導公開学習

日時・場所・対象 平成15年6月25日・尚徳小学校・米子市小学校教職員

目的「数学的表現力向上を培う算数的活動の工夫」

「尚徳小学校校内授業研究会」4年算数少人数指導公開学習

日時・場所・対象 平成15年7月2日・尚徳小学校・尚徳中学校区教職員

目的「算数的活動を通して伝え合う喜びを実感しながら力をつける授業」

「尚徳小学校校内授業研究会」1年2組算数公開学習

日時・場所・対象 平成15年10月7日・尚徳小学校・尚徳中学校区教職員

目的「算数的活動を通して伝え合う喜びを実感しながら力をつける授業」

「尚徳小学校校内授業研究会」5年算数少人数指導公開学習

日時・場所・対象 平成15年10月22日・尚徳小学校・尚徳中学校区教職員

目的「算数的活動を通して伝え合う喜びを実感しながら力をつける授業」

「子どもたちの活動を正しく評価し、その後の指導に生かす」

「尚徳小学校校内授業研究会」6年算数少人数指導公開学習

日時・場所・対象 平成15年10月29日・尚徳小学校・香川県小学校教職員

目的「算数的活動を通して伝え合う喜びを実感しながら力をつける授業について」

「子どもたちの活動を正しく評価し、その後の指導に生かす」

「尚徳小学校校内授業研究会」6年算数少人数指導公開学習

日時・場所・対象 平成15年11月21日・尚徳小学校・米子市小学校教職員

目的「算数的活動を通して伝え合う喜びを実感しながら力をつける授業について」

「子どもたちの活動を正しく評価し、その後の指導に生かす」

「15年度尚徳小学力向上フロンティアスクール中間報告」

日時・対象 平成15年12月22日・米子市小学校教職員

目的「学力向上フロンティア事業に対する尚徳小の取り組み、成果、課題の紹介」

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 ・14年度からの継続校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級 ・13～18学級  
19～24学級 25学級以上

【指導体制】 ・少人数指導 ・T・Tによる指導 一部教科担任制 その他

【研究教科】 ・国語 社会 ・算数 理科 生活 音楽

図画工作 家庭 体育 その他